

ID: 174

担当部署: 町民生活課

|   |                      |         |       |
|---|----------------------|---------|-------|
| 処分の概要   | 督促手数料の徴収             |         |       |
| 例 規 名<br>根 拠 条 項  | 美里町後期高齢者医療に関する条例 第5条 |         |       |
| 例 規 番 号   | 平成20年 条例第9号          |         |       |
| <p>【根拠条文】</p> <p>(保険料の督促手数料)</p> <p>第5条 保険料の督促手数料は、督促状1通について、100円とする。</p> <p>【基準】</p> <p>根拠条文に同じ。</p> |                      |         |       |
| 備考  |                      |         |       |
| 設 定 年 月 日   | 平成25年 6月 7日          | 最終変更年月日 | 年 月 日 |

ID: 175

担当部署: 町民生活課

|  |                         |         |       |
|--|-------------------------|---------|-------|
| 処分の概要  | 延滞金の徴収                  |         |       |
| 例 規 名<br>根 拠 条 項   | 美里町後期高齢者医療に関する条例 第6条第1項 |         |       |
| 例 規 番 号  | 平成20年 条例第9号             |         |       |
| <p>【根拠条文】</p> <p>(延滞金)</p> <p>第6条 被保険者又は連帯納付義務者は、納期限後にその保険料を納付する場合において、その納付する金額に、当該納期限の翌日から納付の日までの期間に応じ、当該金額につき年14.6パーセント(当該納期限の翌日から3月を経過する日までの期間については年7.3パーセント)の割合をもって計算した金額に相当する延滞金を加算して納付しなければならない。</p> <p>2 前項の延滞金を計算する場合において、その計算の基礎となる納付する金額に1,000円未満の端数があるとき又は当該金額が2,000円未満であるときは、その端数となる金額又はその全額を切り捨てるものとする。</p> <p>3 第1項に規定する年当たりの割合は、閏年の日を含む期間についても、365日当たりの割合とする。</p> <p>4 前3項の規定により算出された延滞金の額に100円未満の端数がある場合は、その端数となる金額を切り捨てるものとする。</p> <p>5 前4項の規定により算出された延滞金の額が1,000円未満である場合は、延滞金を全額切り捨てるものとする。</p> <p>【基準】</p> <p>根拠条文及び附則第4項の規定による。</p> <p>(延滞金の割合の特例)</p> <p>4 当分の間、第6条第1項に規定する延滞金の年7.3パーセントの割合は、同項の規定にかかわらず、各年の特例基準割合(各年の前年の11月30日を経過する時における日本銀行法(平成9年法律第89号)第15条第1項第1号の規定により定められる商業手形の基準割引率に年4パーセントの割合を加算した割合をいう。以下同じ。)が年7.3パーセントの割合に満たない場合には、その年中においては、当該特例基準割合(当該特例基準割合に0.1パーセント未満の端数があるときは、これを切り捨てる。)とする。</p> <p>附 則(平成21年12月17日条例第33号)</p> <p>この条例は、平成22年1月1日から施行し、この条例による改正後の附則第4項の規定は、延滞金のうち同日以後の期間に対応するものについて適用し、同日前の期間に対応するものについては、なお従前の例による。</p> |                         |         |       |
| 備考   |                         |         |       |
| 設 定 年 月 日  | 平成25年 6月 7日             | 最終変更年月日 | 年 月 日 |

ID: 176

担当部署: 町民生活課

|   |                           |         |       |
|---|---------------------------|---------|-------|
| 処分の概要   | 過料                        |         |       |
| 例 規 名<br>根 拠 条 項  | 美里町後期高齢者医療に関する条例 第8条及び第9条 |         |       |
| 例 規 番 号   | 平成20年 条例第9号               |         |       |
| <p>【根拠条文】</p> <p>(過料)</p> <p>第8条 被保険者、被保険者の配偶者若しくは被保険者の属する世帯の世帯主その他その世帯に属する者又はこれらであった者が、正当な理由がなく法第137条第2項の規定により文書その他の物件の提出若しくは提示を命ぜられてこれに従わず、又は同項の規定による当該職員の質問に対して答弁せず、若しくは虚偽の答弁をしたときは、10万円以下の過料に処する。</p> <p>第9条 偽りその他不正の行為により保険料その他法第4章の規定による徴収金(町が徴収するものに限る。)の徴収を免れた者は、その徴収を免れた金額の5倍に相当する金額以下の過料に処する。</p> <p>【基準】</p> <p>根拠条文及び第10条の規定による。</p> <p>第10条 前2条の過料の額は、情状により、町長が定める。</p> <p>2 前2条の過料を徴収する場合において発する納額告知書に指定すべき納期限は、その発布の日から起算して10日以上を経過した日とする。</p> |                           |         |       |
| 備考  |                           |         |       |
| 設 定 年 月 日   | 平成25年 6月 7日               | 最終変更年月日 | 年 月 日 |

ID: 198

担当部署: 町民生活課

|   |                          |         |       |
|---|--------------------------|---------|-------|
| 処分の概要   | 過料                       |         |       |
| 例 規 名<br>根 拠 条 項  | 美里町国民健康保険条例 第11条から第13条まで |         |       |
| 例 規 番 号   | 平成18年 条例第135号            |         |       |
| <p>【根拠条文】</p> <p>第11条 町は、世帯主が国民健康保険法(昭和33年法律第192号)第9条第1項若しくは第9項の規定による届出をせず、若しくは虚偽の届出をした場合又は同条第3項若しくは第4項の規定により被保険者証の返還を求められてこれに応じない場合においては、その者に対し、10万円以下の過料を科する。</p> <p>第12条 町は、世帯主又は世帯主であった者が正当な理由なしに、国民健康保険法第113条の規定により文書その他の物件の提出若しくは提示を命ぜられてこれに従わず、又は同条の規定による当該職員の質問に対して答弁せず、若しくは虚偽の答弁をしたときは、その者に対し、10万円以下の過料を科する。</p> <p>第13条 町は、偽りその他不正の行為により保険税、一部負担金及びこの条例に規定する過料の徴収を免れた者に対し、その徴収を免れた金額の5倍に相当する金額以下の過料を科する。</p> <p>【基準】</p> <p>根拠条文及び第14条の規定による。</p> <p>第14条 前3条の過料の額は、情状により町長が定める。</p> <p>2 前3条の過料を徴収する場合において発する納入通知書に指定すべき納期限は、その発付の日から起算して10日以上を経過した日とする。</p> |                          |         |       |
| 備考  |                          |         |       |
| 設 定 年 月 日   | 平成25年 6月 7日              | 最終変更年月日 | 年 月 日 |

ID: 210

担当部署: 町民生活課

|   |                        |         |       |
|---|------------------------|---------|-------|
| 処分の概要   | 措置命令                   |         |       |
| 例 規 名<br>根 拠 条 項  | 美里町営町屋敷・牛飼共葬墓地管理条例 第7条 |         |       |
| 例 規 番 号   | 平成18年 条例第143号          |         |       |
| <p>【根拠条文】</p> <p>(使用の制限等)</p> <p>第7条 町長は、使用者に対し、その維持管理上必要があると認めたときは、その使用に関し制限若しくは条件を付け、又は必要な措置を命ずることができる。</p> <p>【基準】</p> <p>根拠条文に同じ。</p> |                        |         |       |
| 備考  |                        |         |       |
| 設 定 年 月 日   | 平成25年 6月 7日            | 最終変更年月日 | 年 月 日 |

ID: 211

担当部署: 町民生活課

|  |                            |         |       |
|--|----------------------------|---------|-------|
| 処分の概要  | 使用許可の取消し                   |         |       |
| 例 規 名<br>根 拠 条 項   | 美里町営町屋敷・牛飼共葬墓地管理条例 第10条第1項 |         |       |
| 例 規 番 号  | 平成18年 条例第143号              |         |       |
| <p>【根拠条文】</p> <p>(許可の取消し)</p> <p>第10条 次の各号のいずれかに該当する場合は、墓地の使用許可を取り消すものとする。</p> <p>(1) 使用者が死亡した日から起算し2年を経過しても、祭祀を主宰する者がいないとき。</p> <p>(2) 使用者が3年間墓地管理分担金(以下「管理料」という。)を納めないとき。</p> <p>(3) 使用者が住所不明になって10年を経過したとき。</p> <p>(4) 使用者が許可を受けた目的以外に使用したとき。</p> <p>(5) 使用者が使用場所を転貸したとき。</p> <p>(6) この条例又はこれに基づく命令に違反したとき。</p> <p>2 使用者は、前項の規定により、使用許可を取り消されたときは、その場所を原状に復して本町に返還しなければならない。</p> <p>3 使用者が、前項の措置を行わなかった場合は、町長がこれをなし、その費用は、義務者から徴収するものとする。</p> <p>【基準】</p> <p>根拠条文に同じ。</p> |                            |         |       |
| 備考   |                            |         |       |
| 設 定 年 月 日  | 平成25年 6月 7日                | 最終変更年月日 | 年 月 日 |

ID: 212

担当部署: 町民生活課

|  |                         |         |       |
|--|-------------------------|---------|-------|
| 処分の概要  | 使用料の徴収                  |         |       |
| 例 規 名<br>根 拠 条 項   | 美里町営町屋敷・牛飼共葬墓地管理条例 第12条 |         |       |
| 例 規 番 号  | 平成18年 条例第143号           |         |       |
| <p>【根拠条文】</p> <p>(使用料)</p> <p>第12条 町営墓地の永代使用料は、別表第1により、許可のときこれを徴収する。</p> <p>【基準】</p> <p>根拠条文に同じ。</p> |                         |         |       |
| 備考   |                         |         |       |
| 設 定 年 月 日  | 平成25年 6月 7日             | 最終変更年月日 | 年 月 日 |

ID: 214

担当部署: 町民生活課

|   |                            |         |       |
|---|----------------------------|---------|-------|
| 処分の概要   | 交付手数料の徴収                   |         |       |
| 例 規 名<br>根 拠 条 項  | 美里町営町屋敷・牛飼共葬墓地管理条例 第13条第3項 |         |       |
| 例 規 番 号   | 平成18年 条例第143号              |         |       |
| <p>【根拠条文】</p> <p>(許可証の交付手数料)</p> <p>第13条 町長は、前条に規定する使用料を全額納入した使用者には、使用許可証を交付する。</p> <p>2 町営墓地の使用を承継した者又は使用許可証を紛失した者は、使用許可証の書換え又は再交付を受けなければならない。</p> <p>3 前項に規定する使用許可証の書換え又は再交付をした場合は、次の区分による手数料に100分の105を乗じて得た額を徴収する。ただし、その額に10円未満の端数が生じたときは、これを切り捨てるものとする。</p> <p>(1) 書換え 1件につき 300円</p> <p>(2) 再交付 1件につき 500円</p> <p>【基準】</p> <p>根拠条文に同じ。</p> |                            |         |       |
| 備考  |                            |         |       |
| 設 定 年 月 日   | 平成25年 6月 7日                | 最終変更年月日 | 年 月 日 |



ID: 215

担当部署: 町民生活課

|   |                         |         |       |
|---|-------------------------|---------|-------|
| 処分の概要   | 管理料の徴収                  |         |       |
| 例 規 名<br>根 拠 条 項  | 美里町営町屋敷・牛飼共葬墓地管理条例 第14条 |         |       |
| 例 規 番 号   | 平成18年 条例第143号           |         |       |
| <p>【根拠条文】</p> <p>(管理料)</p> <p>第14条 使用者は、清掃その他町営墓地の管理に要する経費として、使用場所1区画について別表第1に定める管理料に100分の105を乗じて得た額を納付しなければならない。ただし、その額に10円未満の端数が生じたときは、これを切り捨てるものとする。</p> <p>【基準】</p> <p>根拠条文に同じ。</p> |                         |         |       |
| 備考  |                         |         |       |
| 設 定 年 月 日   | 平成25年 6月 7日             | 最終変更年月日 | 年 月 日 |

ID: 219

担当部署: 町民生活課

|  |                         |         |       |
|--|-------------------------|---------|-------|
| 処分の概要  | 過料                      |         |       |
| 例 規 名<br>根 拠 条 項   | 美里町営町屋敷・牛飼共葬墓地管理条例 第19条 |         |       |
| 例 規 番 号  | 平成18年 条例第143号           |         |       |
| <p>【根拠条文】</p> <p>(罰則)</p> <p>第19条 墓地内の土地又は施設物若しくは樹木を損傷し、町長の許可なくして使用した者に対しては、5,000円以下の過料に処する。</p> <p>【基準】</p> <p>根拠条文に同じ。</p> |                         |         |       |
| 備考   |                         |         |       |
| 設 定 年 月 日  | 平成25年 6月 7日             | 最終変更年月日 | 年 月 日 |

ID: 221

担当部署: 町民生活課

|  |                           |         |       |
|--|---------------------------|---------|-------|
| 処分の概要  | 使用許可の取消し等                 |         |       |
| 例 規 名<br>根 拠 条 項   | 美里町営練牛・後袋共葬墓地管理条例 第10条第1項 |         |       |
| 例 規 番 号  | 平成18年 条例第144号             |         |       |
| <p>【根拠条文】</p> <p>(使用許可の取消し等)</p> <p>第10条 町長は、使用者が次のいずれかに該当する場合は、その使用の許可を取り消すことができる。この場合において、町長が特別の事情があると認める場合を除くほか、当該墳墓は、原状に回復させなければならない。</p> <p>(1) この条例及びこの条例に基づく規則に違反したと認めるとき。</p> <p>(2) 使用許可に係る墳墓の使用中止を申し出たとき。</p> <p>(3) 死亡した場合において、その使用を承継する者がいないとき又は承継すべき者の所在が不明で、かつ、縁故者がなく10年を経過したと認めるとき。</p> <p>2 前項の規定により使用者が損害を受けることがあっても、町は、賠償の責めを負わない。</p> <p>【基準】</p> <p>根拠条文に同じ。</p> |                           |         |       |
| 備考   |                           |         |       |
| 設 定 年 月 日  | 平成25年 6月 7日               | 最終変更年月日 | 年 月 日 |

ID: 222

担当部署: 町民生活課

|   |                           |         |       |
|---|---------------------------|---------|-------|
| 処分の概要   | 使用料の徴収                    |         |       |
| 例 規 名<br>根 拠 条 項  | 美里町営練牛・後袋共葬墓地管理条例 第13条第1項 |         |       |
| 例 規 番 号   | 平成18年 条例第144号             |         |       |
| <p>【根拠条文】</p> <p>(使用料)</p> <p>第13条 町営墓地を使用しようとする者からは、別表に掲げる使用料を徴収する。</p> <p>2 使用料の額は、当該町営墓地の工事費(当該費用のうち受納した寄附又は補助に係る部分を除く。)に、地代に相当する額(土地の取得若しくは使用又は墓地の造成につき寄附又は補助を受け、若しくは通常の条件により有利な条件で土地の譲渡若しくは貸付けを受けた場合においては、これらに係る部分を除く。)及び事業資金に係る負担金利額を加えた金額を限度とする。</p> <p>3 使用料は、町長の発行する納入通知書により使用許可と同時に納入しなければならない。</p> <p>4 既に徴収した使用料は、返還しない。</p> <p>5 前2項の規定は、町長が特別の事情があると認めるときは、適用しない。</p> <p>【基準】</p> <p>根拠条文に同じ。</p> |                           |         |       |
| 備考  |                           |         |       |
| 設 定 年 月 日   | 平成25年 6月 7日               | 最終変更年月日 | 年 月 日 |

ID: 225

担当部署: 町民生活課

|   |                        |         |       |
|---|------------------------|---------|-------|
| 処分の概要   | 過料                     |         |       |
| 例 規 名<br>根 拠 条 項  | 美里町営練牛・後袋共葬墓地管理条例 第17条 |         |       |
| 例 規 番 号   | 平成18年 条例第144号          |         |       |
| <p>【根拠条文】</p> <p>(罰則)</p> <p>第17条 第4条の規定による許可を受けないで使用した者又は第9条各号に掲げる事項を遵守しない者は、5万円以下の過料に処する。</p> <p>2 詐欺その他不正の行為により、使用料の徴収を免れた者は、その徴収を免れた金額の5倍に相当する金額(当該5倍に相当する金額が5万円を超えないときは、5万円とする。)以下の過料に処する。</p> <p>【基準】</p> <p>根拠条文に同じ。</p> |                        |         |       |
| 備考  |                        |         |       |
| 設 定 年 月 日   | 平成25年 6月 7日            | 最終変更年月日 | 年 月 日 |

ID: 227

担当部署: 町民生活課

|  |                      |         |       |
|--|----------------------|---------|-------|
| 処分の概要  | 勧告従事命令               |         |       |
| 例 規 名<br>根 拠 条 項   | 美里町美しいまちづくり推進条例 第14条 |         |       |
| 例 規 番 号  | 平成18年 条例第145号        |         |       |
| <p>【根拠条文】</p> <p>(命令)</p> <p>第14条 町長は、前条の規定による勧告を受けた自動販売業者が正当な理由なくその勧告に従わないときは、期限を定めて、その勧告に従うべきことを命ずることができる。</p> <p>【基準】</p> <p>根拠条文に同じ。</p> |                      |         |       |
| 備考   |                      |         |       |
| 設 定 年 月 日  | 平成25年 6月 7日          | 最終変更年月日 | 年 月 日 |

ID: 1001

担当部署: 町民生活課

|  |                    |     |     |
|--|--------------------|-----|-----|
| 処分の概要  | 騒音等の防止の方法の改善等の変更命令 |     |     |
| 例 規 名<br>根 拠 条 項   | 公害防止条例 第42条第2項     |     |     |
| 例 規 番 号  | 昭和46年 宮城県条例第12号    |     |     |
| <p>【根拠条文】</p> <p>(改善勧告、改善命令等)</p> <p>第42条 知事は、特定事業場から発生する騒音等が規制基準に適合しないことによりその特定事業場の周辺の生活環境が損なわれていると認めるときは、当該特定事業場を設置している者に対し、期限を定めて、その事態を除去するために必要な限度において、騒音等の防止の方法を改善し、又は特定施設の使用の方法若しくは配置を変更すべきことを勧告することができる。</p> <p>2 知事は、第38条の規定による勧告を受けた者がその勧告に従わないで特定施設を設置しているとき、又は前項の規定による勧告を受けた者がその勧告に従わないときは、期限を定めて、同条又は同項の事態を除去するために必要な限度において、騒音等の防止の方法の改善又は特定施設の使用の方法若しくは配置の変更を命ずることができる。</p> <p>3 第1項の規定による勧告又は前項の規定による命令を受けた者は、当該勧告又は命令に基づく措置を講じたときは、速やかに、その旨を知事に届け出て、検査を受けなければならない。</p> <p>4 第1項及び第2項の規定は、第36条第1項の規定による届出をした者の当該届出に係る特定事業場については、同項に規定する特定施設となつた日から3年間は、適用しない。ただし、その者が第37条第1項の規定による届出をした場合において当該届出が受理された日から30日を経過したときは、この限りでない。</p> <p>【基準】</p> <p>根拠条文に同じ。</p> |                    |     |     |
| 備考   |                    |     |     |
| 設 定 年 月 日  | 平成 2 5 年           | 6 月 | 7 日 |
| 最終変更年月日  |                    | 年   | 月 日 |

ID: 1002

担当部署: 町民生活課

|   |                 |         |       |
|---|-----------------|---------|-------|
| 処分の概要   | 違反行為の停止命令等      |         |       |
| 例 規 名<br>根 拠 条 項  | 公害防止条例 第64条第2項  |         |       |
| 例 規 番 号   | 昭和46年 宮城県条例第12号 |         |       |
| <p>【根拠条文】</p> <p>(改善勧告、改善命令等)</p> <p>第64条 知事は、飲食店営業等を営む者が第61条第1項又は第62条第1項の規定に違反することにより、その営業所の周辺の生活環境が損なわれると認めるときは、その者に対し、その事態を除去するために必要な限度において、当該違反行為の停止を勧告し、又は期限を定めて施設の改善若しくは使用の方法の変更その他の必要な措置をとるべきことを勧告することができる。</p> <p>2 知事は、前項の規定による勧告を受けた者がその勧告に従わないときは、その者に対し、同項に規定する事態を除去するために必要な限度において、同項の規定する違反行為の停止を命じ、又は期限を定めて同項に規定する措置をとることを命ずることができる。</p> <p>3 第1項の規定による勧告又は前項の規定による命令を受けた者は、当該勧告又は命令に基づく措置を講じたときは、速やかに、その旨を知事に届け出て、検査を受けなければならない。</p> <p>4 第61条第1項の規定に違反する場合における第1項及び第2項の規定は、1の営業が飲食店営業等となつた際現にその営業を営んでいる者については、当該営業が飲食店営業等となつた日から6月間は、適用しない。</p> <p>【基準】</p> <p>根拠条文に同じ。</p> |                 |         |       |
| 備考  |                 |         |       |
| 設 定 年 月 日   | 平成25年 6月 7日     | 最終変更年月日 | 年 月 日 |



ID: 1003

担当部署: 町民生活課

|   |                                     |         |       |
|---|-------------------------------------|---------|-------|
| 処分の概要   | 発行手数料の徴収                            |         |       |
| 例 規 名<br>根 拠 条 項  | 電子署名に係る地方公共団体の認証業務に関する法律施行条例 第2条第1項 |         |       |
| 例 規 番 号   | 平成15年 宮城県条例第82号                     |         |       |
| <p>【根拠条文】</p> <p>(手数料)</p> <p>第2条 知事は、法第3条第6項の規定による電子証明書(以下単に「電子証明書」という。)の発行を申請する者から、同条第7項に規定する提供の際に、当該発行に係る電子計算機処理等に係る手数料(以下「発行手数料」という。)を徴収する。</p> <p>【基準】</p> <p>根拠条文に同じ。</p> |                                     |         |       |
| 備考  |                                     |         |       |
| 設 定 年 月 日   | 平成25年 6月 7日                         | 最終変更年月日 | 年 月 日 |